

平成30年度 社会福祉法人八康会 事業報告

総 括

平成10年8月に特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ケアハウス、在宅介護支援センターを開設した当法人は、その後ヘルパーステーションや居宅介護支援事業所などを開設し、久御山町内の中核的な施設として地域との関わりを深めながら事業運営を行ってきた。

平成30年度に開設後20年を迎えたことを祝い、関係者への感謝を表するとともに、今後の施設運営を盤石なものとし、更なる発展を目指すために、平成31年2月1日(金)に「楽生苑開設20周年記念式典」を開催した。来賓として、行政(京都府・久御山町)、議会、社協、地元自治会、関係機関(居宅支援事業所、病院)等を招待し、また、ボランティアの方々や利用者への感謝状の贈呈、併せて、職員への表彰状の贈呈も行った。第二部記念事業として、宮坂佳紀氏による記念講演を開催した。最後に、関係者参加の下、立食パーティーを開催した。

以下、30年度事業計画における【重点項目】についての結果である。

(利用者サービスの質の向上)

各事業所においては利用者の命と尊厳を守り、一人ひとりが楽しいと感じる暮らしと、健康で生きがいをもって日々の生活ができるように、利用者サービスの質の向上を第一に事業展開を図った。

利用者の権利擁護を実現するために、施設内虐待の未然防止、予防に取り組み、虐待を発生させない体制づくり・風土づくりに努めた。とりわけ、今年度から、法人全事業所参加の下、「身体的拘束適正化検討委員会」を立ち上げ定期的に開催した。また、身体的拘束等の適正化のための指針やケアマニュアルを策定するとともに、年2回の全体研修実施な

ど、身体的拘束廃止に関わる取り組みの強化を図った。

また、すべての事業所において利用者アンケート調査を実施し、更なるサービス向上に職員一丸となって努めた。

(人材確保)

全国的にも介護関係での人材不足が大きな課題となっており、人材確保は喫緊の課題である。11月の南部地域就職フェアなどへの出展を始めとして、人材確保に努めた一方で、職員の離職防止を含めた対応を重点として、ワークライフバランスに配慮した働きがいのある、魅力ある職場づくりに取り組んだ。

なお、特別養護老人ホームにおいては、介護業界共通の懸案である人材確保について、特に今年度後半から新規の入職者確保に苦慮しており、夜勤勤務者が微減傾向にあるため、職員体制の充実強化が喫緊の課題である。

また、当法人は、安心して働ける職場であることを示す「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証事業所であるが、認証更新に係る審査の結果、さらに5年間の更新が認められた。今後も引き続き、職場の魅力向上と人材の育成及び定着に努めたい。

(危機管理システムの構築)

各種リスクマネジメント対策の強化や事業を継続的に実施するための取り組みを強化することが求められているが、9月には久御山町消防署の指導の下、消防総合訓練を実施し普段からの自衛消防の緊急初期対応の強化や安全な避難誘導訓練、実際に放水訓練も行った。また、すべての職員がいざというときに応急手当ができるよう、久御山町消防署による普通救命講習会を苑内にて開催した。

また、台風21号及び24号など、災害などの緊急事態に遭遇した場合に、被害を最小限にとどめて事業継続、早期復旧を行うことができるよう備えることが必要であり、小規模事業者とはいえ、事前準備対策や総合的な計画を策定することが引き続きの課題である。

(経営の安定化、ガバナンスの確立)

経営面では、特に稼働率低下による減収とならないよう、特別養護老人ホームにおける入院者及び退所者発生後の空床運用の進め方やショートステイの稼働率向上を始めとして、通所介護や訪問介護の利用者確保などの取り組みを継続させている。

とりわけ稼働率が低下している通所介護については、病院の医師や理学療法士、マッサージ師との連携・援助を受けながら、新たな加算の算定を行うとともに、利用者の減少傾向の中での稼働率確保を目指した。

また、独立行政法人福祉医療機構（WAM）による「経営分析プログラム」を受け、法人施設の経営状況等についての分析結果を得た。特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターが主であるが、短期利益改善の可能性についての提言を受けた。特に、特養の入所単価アップ（要介護度の高い利用者確保等）やデイサービスの稼働率増加を始め、事務費、水道光熱費等の費用の削減及び職員の意識改革が必要であると分析されている。

これまでの取り組みを後押しするような内容であるが、引き続き、経営分析結果を踏まえた不断の経営改善策の取り組みを進めて行くこととしている。

（地域との連携、地域貢献事業の展開）

久御山南病院との合同夏まつりを始めとして、小学生との交流や中学生の体験学習受け入れ、災害時における協定を地元自治会と締結、利用者の外出支援など、地域の活性化、つながりの構築に向けて、多様な関係機関や個人との連携・協働を進めてきた。

2月に、町内にお住まいの在宅家族介護者の方を迎えて、「在宅介護者のための介護教室」（在宅家族介護者交流事業）を実施した。（見学案内、嚥下のメカニズム等の講義や嚥下調整食の試食等。）

法人職員は、地域で働いているという意識をもち、地域のさまざまな課題を解決していくことが求められている。社会福祉事業だけではなく、制度外のニーズにも対応することなども期待されていることを認識し、久御山町社会福祉協議会と連携しながら、さらに取り組んでいきたい。

今後も、社会福祉法人の責務としての「地域における公益的な取り組み」を進め、地域に信頼される施設づくりを目指すことが重要である。

1. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

定員 60 名

利用者一人一人に寄り添った介護の充実を図ることに重点を置き、個別処遇計画に基づく個別ケアを中心にサービス提供を行ってきた。特に下半期以降は、介護職員数の減少や業務軽減を要する職員への対応に伴い、これまで以上に毎月の会議等で業務改善を行い、利用者と共に過ごす時間の確保や個別ケアの充実等継続できるよう努めた。サービスの質の低下を招くことなく、一定の効果はみられたが、介護職員の業務負担軽減等離職防止への取り組みは継続中である。

職員の資質向上については、施設外の研修に参加することや、各委員会（事故防止、身体拘束廃止、処遇改善、感染症対策、褥瘡予防対策）の主催や法人研修企画委員会による苑内研修を定期的に行い、職員の自己研鑽への意識、資質向上に繋げることができた。今後も、継続しながら個々のサービス内容の見直しも進め、よりよいサービスの提供を行う。

(1) 施設利用状況

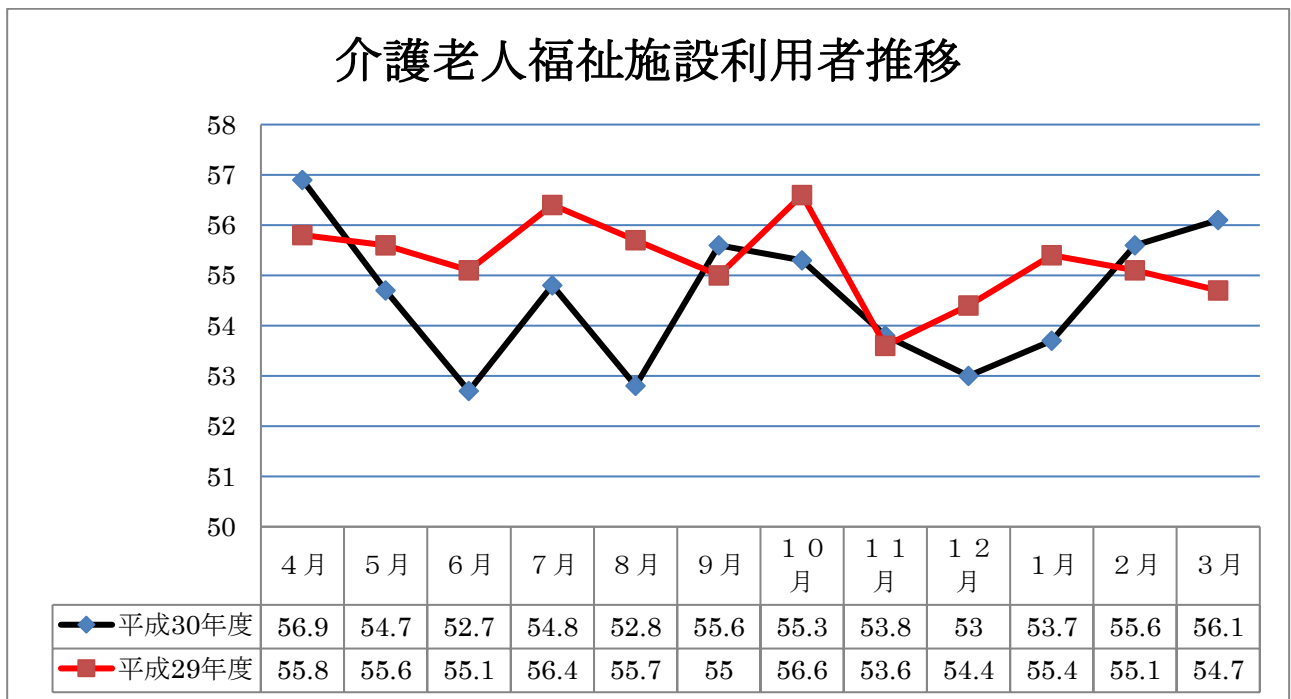
施設の利用状況は、表 1 のとおりである。平成 30 年度の年間延べ利用者数は、19,919 人(前年比-265 人)外泊算定者を合わせた 1 日平均で 54.6 人(同-0.7 人)、ベッド稼働率は 91%(-1%)。平均要介護度は 3.9 であった (同-0.2)。

入退所状況については、年度開始当初から退所後のスムーズな次入所予定者の受け入れに向けて、関係機関との連携や事前準備等を速やかに行えたが、6 月から急激に入院者が増加し、日数も長期化する等入院日数は 1,394 日 (同+267 日) と増加。31 年度は、日常の健康管理や入退院時に医療との連携を図ることで、入院日数の減少を図り、稼働率向上に努めていきたい。

表 1 介護老人福祉施設の利用状況

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
平成30年度	延利用者数	1707	1696	1582	1699	1637	1668	1714	1613	1643	1665	1557	1738	19,919
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	1日平均(人)	56.9	54.7	52.7	54.8	52.8	55.6	55.3	53.8	53.0	53.7	55.6	56.1	54.6
	入院日数	70	60	134	114	161	85	133	153	155	162	67	100	1,394
	稼働率%	95%	91%	88%	91%	88%	93%	92%	90%	88%	90%	93%	93%	91%
前年度1日平均(人)	55.8	55.6	55.1	56.4	55.7	55.0	56.6	53.6	54.4	55.4	55.1	54.7	55.3	
入所者数	1	2	1	2	0	2	1	0	1	1	3	0	14	
退所者数	2	3	0	2	0	1	0	2	0	2	1	1	14	

図1 介護老人福祉施設の利用者数の推移



(2) 利用者の生活の状況

平成30年度の事業計画の重点項目「一人一人に寄り添った介護の充実を図る」に基づき、個別ケアの充実に取り組んだ。

毎月のフロア会議等で個別処遇計画の見直しを行った。よりよい生活を送るために何が必要で何をすべきかということに重点を置いて、見直しを行った。

施設内の生活としては、季節を感じられる行事を中心に計画し、外出行事として、お花見と外食・買い物等で、季節感を感じられる行事を企画実行した。

苑内行事としては、8月に夏祭り、11月には運動会、12月にクリスマス会を行い、

2月には節分お楽しみ会などが実施できたことは苑外へなかなか出かけることができない利用者にとっても非常に喜ばれた様子であった。

表2 年間行事

4月	お花見（久御山中央公園 東一口 楽生苑周辺）、おやつ作り（たこ焼き）
5月	外食、買い物ツアー
6月	外食、買い物ツアー、おやつ作り（米粉クレープ）
7月	買い物ツアー、おやつ作り（フレンチトースト）
8月	夏祭り
9月	敬老祝賀式、おやつ作り（アイスクリーム）
10月	買い物ツアー
11月	運動会、おやつ作り（たこ焼き）
12月	クリスマス会、おやつ作り（フルーツポンチ）
1月	お正月遊び
2月	節分お楽しみ会、おやつ作り（シュークリーム）
3月	おやつ作り（フルーツサンド）

表3 利用者の状況（H31.3.31現在）

<日常生活>

	自立	一部介助	全介助
食事	14	26	19
移乗	10	18	31
着脱	2	28	29
寝返り	12	25	28
入浴	2	25	32
排泄	2	25	32
移動	8	18	33
	なし	歩行器等	車椅子
歩行補助具	5	3	51
	自立	トイレ介助	おむつ交換
排泄(昼)	1	32	26
排泄(夜)	1	9	49
	一般浴	座位浴	臥位浴
入浴種類	5	35	19

<要介護状況>

要介護1	0
要介護2	0
要介護3	20
要介護4	25
要介護5	14
要介護平均	3.9

<平均年齢>

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	92	73	79.4
女	108	71	89.3
			88.1

<性別、年齢及び入所期間>

区分	～1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上 ～
60～64歳 男						
60～64歳 女						
65～69歳 男						
65～69歳 女						
70～74歳 男	1					
70～74歳 女	1					
75～79歳 男	1					
75～79歳 女		1	1			
80～84歳 男	1	1		1		
80～84歳 女	2	7	1		1	1
85～89歳 男	2					
85～89歳 女	1	6	2	2	2	2
90～94歳 男						1
90～94歳 女		6	2	2		
95～99歳 男						
95～99歳 女	4	1		1	1	
100～104歳 男						
100～104歳 女		1		2		
105～歳 男						
105～歳 女				1		
	13	23	6	9	4	4

<認知症高齢者の日常生活自立度>

区分	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
男	0	1	1	1	3	1	1	0	0	8
女	2	3	4	11	10	11	10	0	0	51

<障害高齢者の日常生活自立度>

区分	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
男	0	0	0	1	2	1	2	1	1	0	8
女	0	0	0	2	3	14	23	1	8	0	51

(3) 健康管理について

定期的な健康管理として、毎年4月に一般健康診断を行っている。何か異常があれば追加検査を行い、嘱託医より家族に説明し、今後の治療方針を相談・決定している。

NST会議（栄養サポートチーム会議）を継続し、特養利用者60名の既往歴に基づいた追跡検査等を行い、健康管理をすることで再発等予防していくことを目的とし

ている。

入院者数について、延べ 28 人実人数 24 人（入院病名として肺炎、気管支炎・骨折・酸素濃度低下、尿路感染等）月平均 3.6 名入院している。死亡者については、11 名（内入院中 8 名 施設内 3 名）であった。利用者の高齢化及び要介護度の上昇があり、入院者及び入院日数が増加してきており、稼働率に影響が出ている。

感染対策としては、地域での感染症情報の収集、施設内の感染症の把握、感染症の知識を職員で共有するなど、感染症対策委員会を中心に行ってきた。

平成 30 年度の感染症としては、12 月に 2 名、1 月に 2 名インフルエンザ A 型を発症した。（前年比+2 名）予防対策として予防接種は実施していたが、発症を防ぐことはできなかった。平成 28 年度から開催している全部署が集まる感染症対策委員会を継続し、法人全体として対策に取り組んできた。感染症発症のたびに臨時感染症対策委員会を開催し、隔離方法などの対応策の検討や拡大防止の徹底などを確認した。

看取りについて、指針の見直し点検や職員にむけての研修（苑外・苑内）を行った。昨年度は、1 名の看取り介護を行ったが、今年度もさらなる体制の構築に取り組んでいきたい。

(4) 栄養管理について

食事提供では平均栄養基準と実績（カッコ内）は、熱量 1541kcal(1630cal) たんぱく質 51g(66g)であった。利用者個々の身体状況、嗜好に配慮した食事提供ができた。また嚥下・咀嚼機能の変化、疾病状況の変化に添い、迅速に対応できるよう給食委託業者と調整しながらおこなった。

厨房内の衛生管理については委託業者内研修や情報提供などで、感染予防に努め対応できたが、これからも一年間を通し、緊張感をもって衛生面や環境整備に取り組み、感染予防に努めていく。

栄養ケアマ・マネジメントでは、個々の栄養管理について多職種で構成される担当者会議、南病院とのNST会議で食種の経緯・体重変化・血液データ・栄養状態のレベル、栄養ケアの経過報告等を基に今後の改善目標を設定し、一人一人の利用者の状況、変化に対し、健康維持・疾病予防・栄養改善のための具体的な提供方法を検討し、実施をはかってきた。また、摂食・嚥下障害対象者にむけて多職種による協働で口から食べる支援を経口維持計画を立て実施することでさらに栄養管理を強化していくことができた。

<お誕生日食・行事食（特養・ショート・ケアハウス・デイ）>

行事名	実施日	内容
4月お誕生日食	4月27日	寿司バイキング（握り寿司）
節句の日	5月5日	ちらし寿司、鯛の潮汁、柏餅
5月お誕生日食	5月30日	松花弁当（手毬寿司、ほたての五色あられ揚げ等）
6月お誕生日	6月25日	洋食ランチ（冷製サーモンのレモンソースもしくは煮込みハンバーグ）
7月お誕生日食・土用の丑	7月20日	鰻の蒲焼きご飯、真鯛のしそ巻き揚げ等
8月お誕生日会	8月21日	精進散らし、小鯛の塩焼き、天ぷら、賀茂ナス等
9月お誕生日会・敬老祝賀式	9月10日	松花堂弁当（赤飯、鯛の塩焼き、天ぷら）
10月お誕生日会	10月25日	松花堂弁当（きのこごはん、刺身盛り合わせ等）
11月お誕生日会	11月17日	寿司握り盛り合わせ
12月お誕生日会	12月5日	おでん
クリスマスパーティー	12月25日	洋食ランチ
お正月	1月1, 2, 3日	お節料理（お雑煮、海老さより手綱等）
1月お誕生日会	1月25日	豚しゃぶ、鶏つくねと野菜の煮込み盛り合わせ
節分の日	2月2日	巻き寿司、いなり寿司等
2月お誕生日会	2月18日	松花堂弁当（蟹と生姜の炊き込みご飯、刺身等）
お雛様の日	3月2日	五目散らし寿司、炊き物（鯛の子、ふき）
3月お誕生日会	3月20日	すき焼き

その他：選択食・おやつ作り等月2回実施した

食事内容(特養)

(人)

主食									副食						胃ろう
米飯	軟飯	全粥	おにぎり	パン	パン一口大	ジャムサンド	パン粥ペースト	パン粥ゼリー	L5 (普通)	L5 (一口大)	L4b (軟菜食)	L4a (ソフト食)	L3 (ペースト食)	L2 (ゼリー食)	
11	11	16	0	3	2	0	5	1	9	8	14	9	8	1	6

特別治療食

(人)

心臓食 (塩分制限食)	脂質異常食	糖尿病食	膵臓・肝臓食	貧血食	腎臓食
7	1	5	0	1	0

2. ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）

定員 10 名

利用者数は、表 4 のとおりである。年間のベッド稼働率は 111%(前年比+14%) 延べ利用者数は 4,042 人(同+442 人) の方に利用していただいた。

稼働率に関して、昨年度の向上に繋がった近隣市町村の居宅介護支援事業所への利用者獲得の働きかけを続けながら、医療機関等への働きかけを行い、利用者数増加に繋がったと思われる。

今後もケアマネジャーなどに対して働きかけを続け、利用者獲得にさらに努めたい。

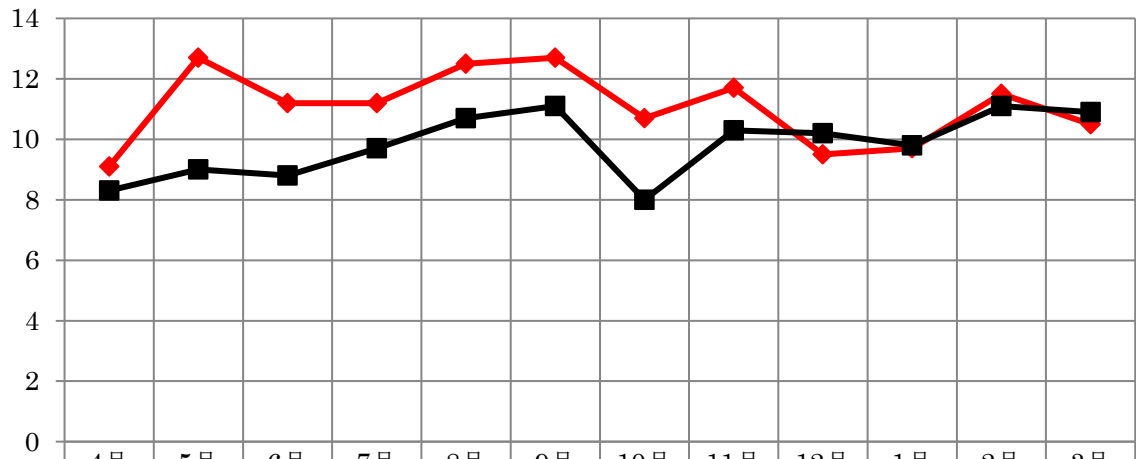
表 4 短期入所生活介護利用者の状況

ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成 30 年度	利用者 数実績	274	393	336	348	389	382	331	350	293	300	321	325	4,042
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	1日平均(人)	9.1	12.7	11.2	11.2	12.5	12.7	10.7	11.7	9.5	9.7	11.5	10.5	11.1
	稼働率%	91%	127%	112%	112%	125%	127%	107%	117%	95%	97%	115%	105%	111%
前年度1日平均(人)		8.3	9.0	8.8	9.7	10.7	11.1	8.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.6

図 2 短期入所生活介護利用者数の推移

短期入所生活介護利用者数推移

◆ 30年度 ■ 29年度



30年度	9.1	12.7	11.2	11.2	12.5	12.7	10.7	11.7	9.5	9.7	11.5	10.5
29年度	8.3	9	8.8	9.7	10.7	11.1	8	10.3	10.2	9.8	11.1	10.9

3. デイサービスセンター（通所介護、第1号通所型サービス）

今年度は、7つの重点項目を掲げた。

- 1) 「利用者、家族の立場に立ったケアの提供」；今年度外出行事として春は久御山・宇治方面に桜見、秋には宇治川ラインに紅葉見学に行くことができた。年間を通じ、季節に応じた行事の実施ができた。利用者、家族の満足度を確認するアンケートの実施もできた。又、毎月のサービス向上委員会の中で、満足度向上の為の取り組みもできた。
- 2) 「利用人数の増加」；新規利用や振替利用人数は昨年と比べ増加したが、入院や体調不良での休みが多く、その空きをうまく埋めることができなかった。
- 3) 「機能訓練の充実」；在宅での状態確認を行いながら様々なメニューを準備し、訓練を行うことができた。又、新加算として平成30年10月から生活機能向上連携加算の算定を開始し、理学療法士との協議の中で、訓練内容の検討や実施状況等評価をおこなうことができた。
- 4) 「地域とのつながり」；外出時においては、民生児童委員にボランティアとして参加頂いた。又、毎月、介護サポーターが来苑され、利用者の生の声を聞いたり、職員との意見交換を行うことができた。
- 5) 「安心、安全なサービス提供」；送迎中も含め、大きな事故等もなく事業の実施を行うことができた。毎月の事故防止対策委員会にてヒヤリハット事例等の検証を行うことができた。
- 6) 「職員の育成」；定例会議や各種委員会（事故防止、サービス向上、感染症対策、身体拘束廃止）の中で、研修や勉強会の実施をすることができた。個別面談の実施もできた。
- 7) 「新総合事業について」；利用依頼や希望に対し、久御山町地域包括支援センターとの連携を図り、早急に受け入れの対応ができた。又、京都市伏見区際目町の受け入れの対応もできた。

(1) 利用状況

利用者数は下表のとおりである。

【7～9時間デイ】年間延べ利用者総数 5,935人（前年比-198人）、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で 19.4人（前年比-0.5人）であった。このうち、通所型

サービスの利用者は、年間で1,109人（前年比+157人）で総利用者数の18.7%であった。

【3～5時間デイ】年間延べ利用者総数378人（前年比+133人）、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で1.3人（前年比+0.5人）であった。このうち、通所型サービスの利用者は、年間で121人（前年比+69人）で総利用者数の32.0%であった。

表1

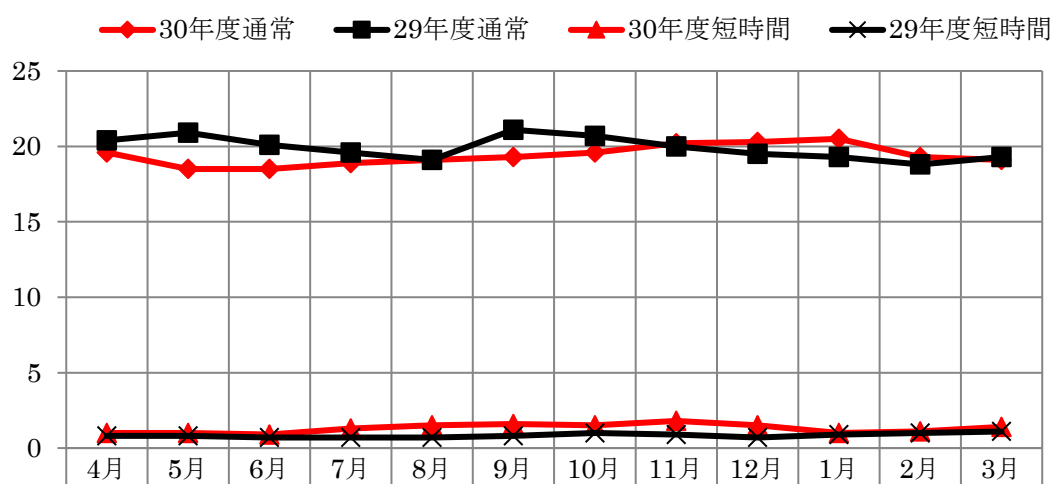
【7～8時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成30年度	延利用者数	491	499	482	492	517	463	528	525	486	492	463	497	5,935人
	稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308日
	1日平均	19.6	18.5	18.5	18.9	19.1	19.3	19.6	20.2	20.3	20.5	19.3	19.1	19.4人
	稼働率(%)	78.4	74	74	75.6	76.4	77.2	78.4	80.8	81.2	82	77.2	76.4	77.6%
平成29年度		20.4	20.9	20.1	19.6	19.1	21.1	20.7	20	19.5	19.3	18.8	19.3	19.9

【3～4時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成30年度	延利用者数	23	25	24	32	40	35	39	42	34	23	26	35	378人
	稼働日数	25	24	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	294日
	1日平均	1	1	0.9	1.3	1.5	1.6	1.5	1.8	1.5	1	1.1	1.4	1.3
	稼働率(%)	20	20	18	26	30	32	30	36	30	20	22	28	26.0%
平成29年度		0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	1	0.9	0.7	0.9	1	1.1	0.8

通所介護利用者推移



◆ 30年度通常	19.6	18.5	18.5	18.9	19.1	19.3	19.6	20.2	20.3	20.5	19.3	19.1
■ 29年度通常	20.4	20.9	20.1	19.6	19.1	21.1	20.7	20	19.5	19.3	18.8	19.3
▲ 30年度短時間	1	1	0.9	1.3	1.5	1.6	1.5	1.8	1.5	1	1.1	1.4
× 29年度短時間	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	1	0.9	0.7	0.9	1	1.1

表2【年齢階層】

(H31.3.31現在)

	55～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳～	平均 年齢
男性	0名	2名	2名	9名	2名	5名	2名	1名	84.6歳
女性	1名	2名	1名	7名	18名	8名	3名	1名	86.9歳
計	1名	4名	3名	16名	20名	13名	5名	2名	85.8歳

表3【介護度】

	事業 対象者	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	平均 介 護 度
男性	1名	1名	1名	4名	7名	5名	4名	0名	2.3
女性	0名	2名	9名	5名	10名	8名	5名	2名	1.9
計	1名	3名	10名	9名	17名	13名	9名	2名	2.0

表4【利用期間】

	1年 未 満	1年 以上 3年 未 満	3年 以上 5年 未 満	5年 以上 7年 未 満	7年 以上 10年 未 満	10年 以上
男性	7名	4名	5名	4名	2名	1名
女性	7名	9名	13名	7名	3名	2名
計	14名	13名	18名	11名	5名	3名

表5【日常生活】

食事			排泄			入浴			着脱			移動						
自立	一部 介助	全 介助	自立	一部 介助	全 介助	一 般 浴	車 椅 子 浴	ス ト レ ッ ト シャ ー 浴	自立	一 部 介 助	全 介 助	独歩		杖・歩行器		車椅子		
												自立	一 部 介 助	自立	一 部 介 助	自立	一 部 介 助	全 介 助
53名	9名	2名	36名	11名	17名	39名	25名	0名	30名	22名	12名	7名	3名	29名	6名	4名	3名	12名

(2) 行事報告

4月	花見 : 栄町～宇治方面～東一口
5月	おやつ作り: 桜餅
6月	買物 : イオン久御山
7月	おやつ作り: 抹茶白玉あんみつ
8月	夏祭り
9月	交流会 : 御牧幼稚園
10月	買物 : イオン久御山
11月	紅葉見学 : 宇治市源氏物語ミュージアム～宇治川ライン
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	買物 : イオン久御山
3月	おやつ作り: どらやき

4. ケアハウス

平成30年度は、入居者の加齢に伴う虚弱化が進んだ。要支援の方が、持病疾患治療中に急変し入院に至る等、循環器系、呼吸器系、消化器系などいわゆる高齢に伴う生活習慣病全般に亘り、ますます医療的管理が必要となっている。そのために、医療機関との連携を第一に、ケアマネジャーやご家族との良好な関係も維持しながら、日常生活が充実、維持できるよう援助を行った。

1. ケアハウス入退居状況

平成30年度は、退居者が1名、入居者2名であった。退居理由は、病気が悪化し急逝されたため。(欠員0名、待機者は夫婦の申込みなく単身4名)

(定員 15)

表1 入居年数 (30年 29年 各年度末 在籍者調べ以下同)

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
入居者数	5	4	4	4	0	1	1	1	5	4	15	14
年度別全体比	33%	29%	27%	29%	0%	7%	7%	7%	33%	29%	100%	100%

表2 介護度 と 入居年数

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	30年	30年	29年	30年	29年
自立				1					1	2	1	3
要支援 1									3	2	3	2
要支援 2	2	3	1	1				1	1		4	5
要介護 1	1		1	1							2	1
要介護 2	1	1	2	1							3	2
要介護 3	1					1	1				2	1
要介護 4											0	0
要介護 5											0	0
合計	5	4	4	4	0	1	1	1	5	4	15	14

表3 入居年数 と 年齢

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
74歳～76歳											0	0
77歳～79歳						1					0	1
80歳～82歳		1	1	1			1		1	1	3	3
83歳～85歳	2	1		1						1	2	3
86歳～88歳			1	2					2	1	3	3
89歳～91歳	2	2	2								4	2
92歳～94歳	1									1	1	1
95歳～									2	1	2	1
合 計	5	4	4	4		1	1	0	5	5	15	14

(注)

- ① 入居申し込みは、80歳以上で、要介護認定を受けた方。
- ② 急激な認知症進行に伴った日常生活への支援が必要な利用者が目立つ。

2. 利用者の所得階層 月別稼働率一覧

表4

階層の区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	30年	29年	個人徴収額(円)
150万円以下	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	34.0%	14%	10,000
150万1円～160万円以下	2													0.0%	2%	13,000
160万1円～170万円以下	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9.0%	8%	16,000
170万1円～180万円以下	4	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	19.0%	14%	19,000
180万1円～190万円以下	5	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	9.0%	10%	22,000
190万1円～200万円以下	6													0.0%	2%	25,000
200万1円～210万円以下	7													0.0%	2%	30,000
220万1円～230万円以下	9	1	1	1										2.0%	9%	40,000
230万1円～240万円以下	10	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	12.0%	10%	45,000
240万1円～250万円以下	11						2	2	2	2	2	2	2	8.0%	4%	50,000
280万1円～290万円以下	15				1	1	1	1	1	1	1	1	1	5.0%		78,000
290万1円～300万円以下	16	1	1	1										2.0%	25%	85,000
	計	14	14	14	14	13	15	15	15	15	15	15	15	100%	100%	
稼働率		93%	93%	93%	93%	87%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			

- 1) 所得階層210万円以下は、81%。150万円以下は、34%。
- 2) 権利擁護事業利用2名、生活保護1名。
- 3) 毎月負担額は、サービス提供利用費用＋生活費＋居住費＋水光熱費で11万円までの方が大半。(10,000～85,000)＋44,810＋28,000＋水光熱費(平均5,000)

3 介護保険サービス利用 実人数

表5 実利用者数 (年度末)

		H30	H29
実利用者		11	10
内訳	デイ利用者	9	7
	ヘルパー利用者	11	9
	福祉用具利用者	10	7

表6 利用回数 (年度末)

週利用回数	1回	2回	3回	4回	6回	7回	合計
デイ利用実人数	1	2	5	1			9
ヘルパー利用実人数	6	2			1	2	11

(注)

- 1) 要支援の人でデイサービス、ヘルパー等利用せずは2人。
- 1) ヘルパー用務は、身体介助を利用している人は、週1回入浴介助で、3人他は生活援助を利用。

4. 行事報告

- 1) 入居者が自分のやりたいことが継続でき、生きがいを持ち、楽しく日常生活を過ごして頂けるよう、畑での野菜の栽培、屋上庭園での草花の手入れ等、季節に応じて、コミュニケーションをとりながら活動していけるよう各種の行事を実施した。

表7 年間行事一覧表

年月	主な行事内容
4月	東一口への花見、畑の耕作（ボランテイア）、イズミヤへの買物
5月	買物・昼食、さつまいも苗植え、久御山町第23回ふれあい福祉まつり参加、イズミヤへの買物
6月	ミニ外出（にぎり忠次郎・BIGBOY・くら寿司+百均）、イズミヤへの買物
7月	4階ケアハウス避難訓練8人（4階洗濯室乾燥機出火夜間想定）
8月	南病院・楽生苑合同夏祭り、トップセンターへの買物、さつまいも畑草取り
9月	敬老会、イズミヤへの買物、全館避難訓練15人、2階洗濯室夜間想定訓練
10月	イズミヤへ買物、リフレッシュ外出（伊賀もくもくファーム・京都水族館・宇治市植物園）9人
11月	紅葉見物ミニ外出、さつまいも掘り
12月	インフルエンザ予防接種（希望者12名）、クリスマス・歌と踊りの集い（ボランテイア遊楽の会；コーヒー・ケーキ+プレゼント）クリスマス飾り
1月	初詣（城南宮神社+外食会）9人、イソへの買物、ご利用者満足度アンケート調査
2月	お茶会（抹茶）、イソへの買物、全館避難訓練15人 全館放送（2階洗濯場出火夜間想定）、
3月	茶話会・懇談会（31年度の行事について検討）、イズミヤへの買物 単独避難訓練10人（1階調理室出火想定）

2) 地域交流について

平成 30 年度は、ふれあい福祉祭りの参加、久御山南病院と楽生苑との合同夏祭り、社会福祉協議会の「絆見守りネットワーク全体研修会～ひとりを大切に、共に生きる地域を目指してから」などへの参加を通じ、積極的に地域交流を図った。

5. 健康管理の実施

- (ア) 年 1 回の特定健診を受診。結果を各自で主治医へ報告。必要に応じ肺炎球菌の予防接種。
- (イ) インフルエンザの予防接種を行い、また感染症予防のため手洗いの励行や消毒に努めた。
- (ウ) 食事摂取量の変化は健康のバロメーターと考え、異常に摂取量が少ない日が継続しないか観察した。

6. 避難訓練

年 2 回の全館避難訓練を実施した。2 回は、夜間想定を実施。
その他、ケアハウスだけで 2 回 単独避難訓練を実施した。

4 ヘルパーステーション（訪問介護、介護予防訪問介護）

今年度については、訪問介護員の人数の維持はできたが、サービス提供責任者の体制確保を図るためサービス提供責任者を増員した結果、微増ではあるが、利用者数（前年度比+6）及び回数（同+127）増加につなぐことができた。

新しい居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの関わりや現利用者の増回利用等に対応できたため、利用者に安心していただくことはできたと思われる。介護老人保健施設への入所、医療機関への入院や在宅復帰が困難になった方等も多くおられた。また、在宅での看取り支援については、支援に繋がる方は少なかったが、依頼は増加している。

今後の課題としては、訪問介護員の増員及び離職防止への取り組みを強化し、新規の依頼や日曜日・祝日、夕方から夜間時間帯の訪問が、より安定して提供できるような態勢の構築が必要である。

訪問介護員の研修については、希望するテーマも取り入れるなどにより、充実した内容となり、事業所内研修への出席率は昨年度より増加した。知識及び実技向上に繋がるようさらに内容を充実させ、スキルアップを図っていきたい。

1、研修内容

日	時	事業所内研修	外部研修
4月	12日	①認知症ケア研修	
5月	10日	①KYT(危険予知訓練)について	集団指導
6月	14日	①熱中症・脱水・食中毒について	
7月	12日 21日	①接遇について	
8月	9日 18日	①介護技術②記録について	
9月	13日 15日	①緊急時対応	
10月	11日 20日	①ヒヤリハット	難病患者等ホームヘルパー養成研修
11月	8日 17日	①感染症について②難病について	
12月	13日	①意見交換会	
1月	10日 19日	①KYT(危険予知訓練)について	
2月	14日 16日	①調理実習	
3月	14日 16日	①法令遵守について	

2、ヘルパー派遣利用者数

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数(介護)	55	57	59	63	63	60	61	63	61	58	57	62	719
利用者数(予防)	46	45	44	39	39	41	41	46	41	41	39	39	501
合計	101	102	103	102	102	101	102	109	102	99	96	101	1,220

3、ヘルパー訪問回数

(単位:回)

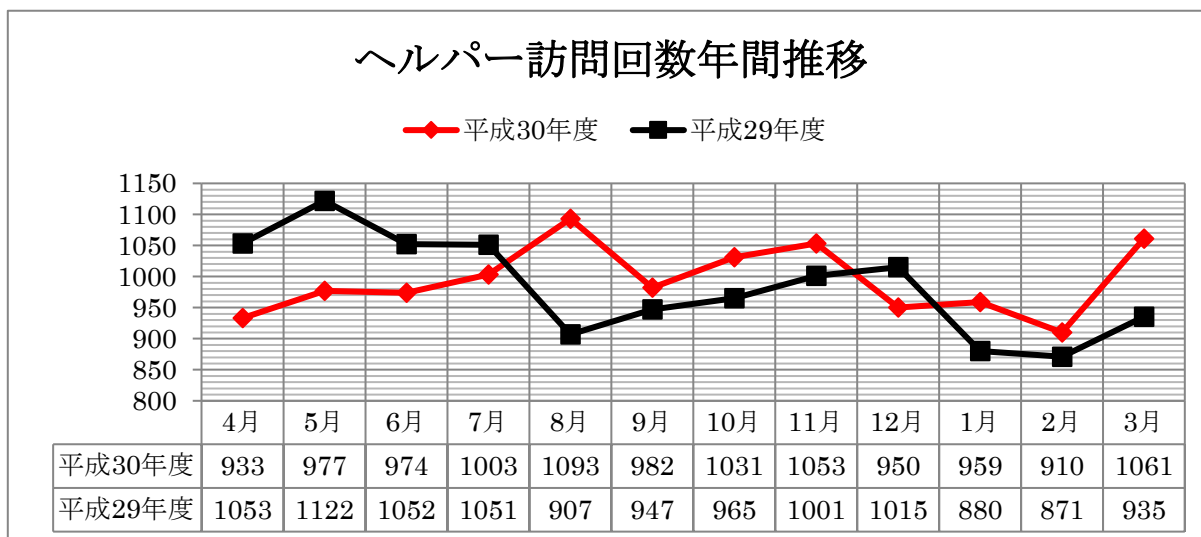
訪問回数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	身体介護	311	346	365	381	396	353	378	346	342	326	315	375	4,234
身体生活	58	66	56	61	89	93	98	121	103	109	106	105	1,065	
生活援助	564	565	553	561	608	536	555	586	505	524	489	581	6,627	
合計(回)		933	977	974	1,003	1,093	982	1,031	1,053	950	959	910	1,061	11,926

4、ヘルパー訪問回数前年度比較(図1)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	933	977	974	1,003	1,093	982	1,031	1,053	950	959	910	1,061	11,926
平成29年度	1,053	1,122	1,052	1,051	907	947	965	1,001	1,015	880	871	935	11,799
増減	-120	-145	-78	-48	186	35	66	52	-65	79	39	126	127

図1 ヘルパー累計訪問回数



5. 居宅介護支援事業所

今年度は給付管理件数 150 件／月を目標にしていたが、在宅復帰困難な入院や近隣市町村の介護老人保健施設やサービス付高齢者住宅、有料老人ホーム等施設への入所者数増加に伴い、月平均 111 件と目標に達することはできなかった。給付管理票提出件数は、1337 件(前年比+27 件) と増加、予防給付は、前年度の月平均 43 件から 51 件と増加している。

介護支援業務においては、昨年度から引き続き、ターミナル支援を含む医療機関退院後の支援や介護保険サービスだけでは生活支援が行き届かないため、インフォーマル支援の併用等多種多様なニーズへの対応や各関係機関およびサービス提供事業者との調整を要する機会が増加した。また、一人暮らしや高齢者世帯の支援等で、相談や訪問回数、時間等も増加している。定例会議や研修伝達会議、事例検討会等を定期的に開催し、事例の振り返り・確認を行うことができ、利用者の情報や支援内容等共有することができた。担当者のみならず、事業所全体で支援を行う取り組みができた。

平成 30 年度の課題として残った、事例検討等内容の充実を図り、また、他職種との連携や質の高いケアマネジメントが実践できるような取り組みを行っていく必要がある。

1. ケアプラン作成実績 (図1)

(単位:件)

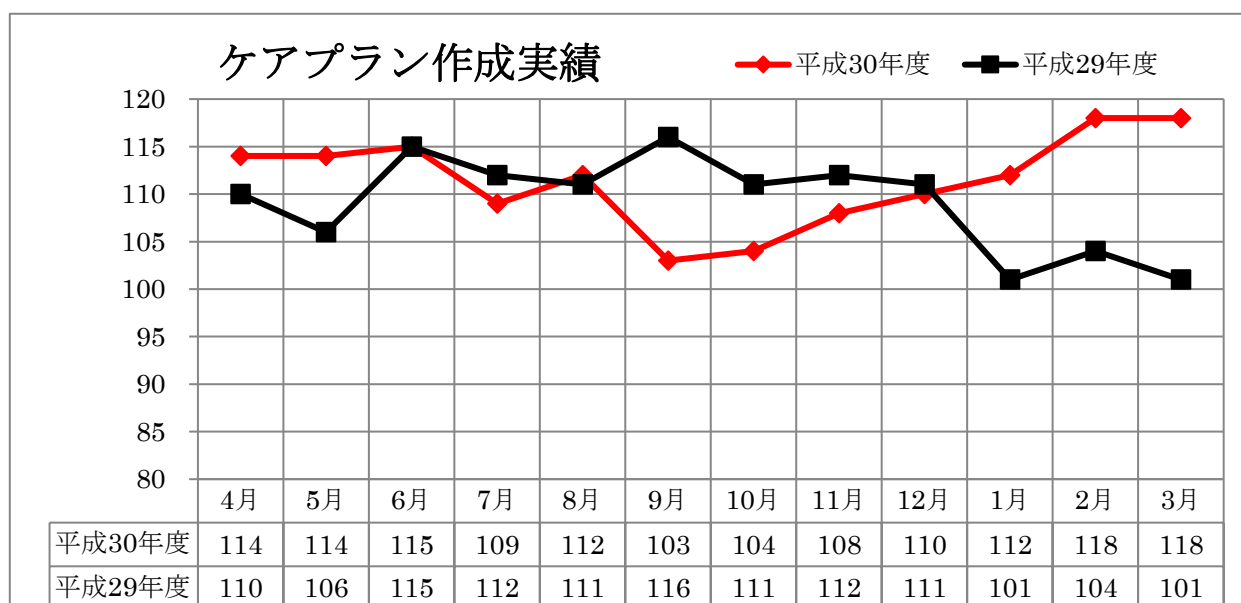
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	114	114	115	109	112	103	104	108	110	112	118	118	1,337
平成29年度	110	106	115	112	111	116	111	112	111	101	104	101	1,310

2. 要介護度別ケアプラン作成実績

(単位:件)

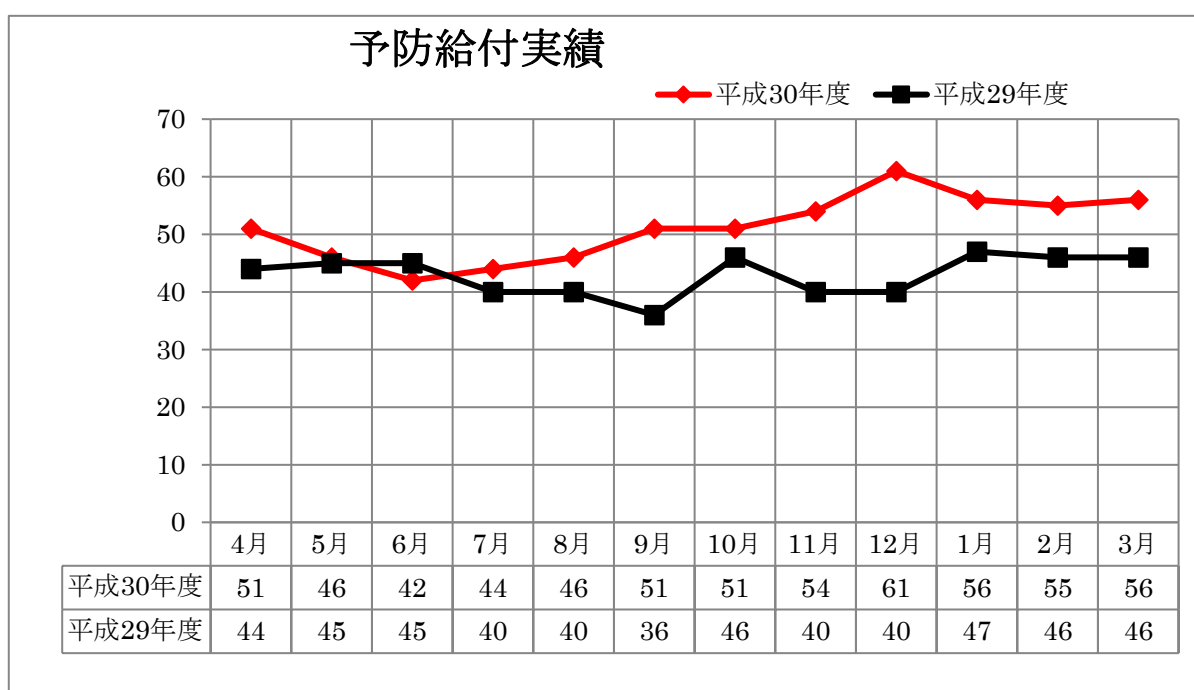
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
要介護1	平成30年度	21	19	18	20	18	18	19	19	19	20	21	25	237
	平成29年度	23	24	26	21	24	22	21	21	25	20	20	18	265
要介護2	平成30年度	44	43	50	44	48	40	38	42	42	43	49	46	529
	平成29年度	41	38	42	44	44	47	43	44	39	39	36	39	496
要介護3	平成30年度	27	23	25	23	23	23	25	24	26	26	26	24	295
	平成29年度	35	32	35	31	29	28	31	29	29	25	24	21	349
要介護4	平成30年度	15	23	16	17	18	17	17	21	16	19	16	17	212
	平成29年度	9	8	8	8	10	11	10	13	13	13	15	17	135
要介護5	平成30年度	7	6	6	5	5	5	5	5	4	4	6	6	64
	平成29年度	6	4	4	4	4	8	6	5	5	4	9	6	65
居宅介護支援 介護給付費別 (年間総数)	平成30年度	介護度 1～2		766			介護度 3～5		571		合計		1,337	
	平成29年度	介護度 1～2		761			介護度 3～5		549		合計		1,310	

図1 ケアプラン作成実績



		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	平成30年度		51	46	42	44	46	51	51	54	61	56	55	56	613
	平成29年度		44	45	45	40	40	36	46	40	40	47	46	46	515

図2 予防給付実績



7.平成30年度 研修一覧

特別養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービスセンター

施主体	研修名
京都府老人福祉協議会	京都府認知症介護実践者等養成研修（実践リーダー研修） 認知症介護実践者等養成研修（介護基礎研修）
京都府	高齢者施設における感染症予防研修会
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	総会・研修会 京都府認知症介護実践者等養成研修（実践リーダー研修） 認知症介護実践者等養成研修（介護基礎研修） 組織・チームで活かせるアンガーマネジメントの使い方
京都府福祉人材センター	キャリアアップ研修（中堅職員）
介護労働安定センター 京都支部	介護技術の総点検 介護職リーダーのための腰痛予防 精神障害・発達障害の理解と対応
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップ研修
社会福祉法人 京都府経営者協議会	平成30年度社会福祉法人経営者セミナー
京都府・京都労働局・職業安定所	平成30年度企業内人権啓発推進員研修会・ 京都府企業内人権問題啓発セミナー及び学 卒求人説明会 労働条件自主点検セミナー（相談指導会）
(株)葵総合保険	介護リスクマネジメントセミナー 身体拘束廃止のリスクマネジメント、新しい 誤嚥防止対策
宇治久世医師会	他職種でかかわる摂食嚥下ケア
京都府健康福祉部	平成30年度民間社会福祉施設長研修会 平成30年度京都府機能訓練指導員等研修会

近畿老人福祉施設協議会	近畿老人福祉施設職員研修会
久御山町社協	絆見守りネットワーク全体研修会 精神障害者の接し方や対応の仕方について
宇治市	専門職向け勉強会・認知症の病型別研修、 認知症初期集中支援チームにおける在宅医 の役割
京都府	危険物取扱管理者講習 介護保険サービス事業者等に係る集団指導 認知症リンクワーカー・フォローアップ研修 福祉避難サポートリーダー養成研修 虐待防止・こころのケアを考える研修会
京都府介護支援専門員会	山城・相楽ブロック合同研修会 認知症高齢者の意思決定支援 介護支援専門員「再研修」 施設ケアプランマスター 主任介護支援専門員更新研修
京都府社会福祉法人 経営者協議会	京都府社会福祉法人経営者セミナー
福祉人材・研修センター	京都介護・福祉職場面接会・相談会
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	第2回山城北ブロック施設長会・研修会
京都府栄養士会	平成30年度介護報酬改定（栄養関連）に関 する実践研修会
京都府福祉医療施設協議会	老人福祉施設看護職・介護職等研修
南京都病院	結核研修会
(株) パラマウントベッド	床ずれ対策セミナー
久御山町消防本部	防火管理研修会
久御山町	介護支援専門員研修会 介護予防・生活支援体制整備事業協議体
久御山町地域包括支援センター	地域ケア会議
やまきたリハビリテーション支援センター	やまきた地域連携のつどい
京都認知症総合センター	認知症/病型別研修Ⅰ 認知症/病型別研修Ⅱ

ヘルパーステーション

実施主体	研修名
京都府社会福祉人材研修センター	平成 30 年難病患者ホームヘルパー養成研修

居宅介護支援事業所

実施主体	研修名
京都府介護支援専門員会	平成 30 年度介護支援専門員及び主任介護支援専門員研修 ケアプラン点検研修
久御山町地域包括支援センター	地域ケア会議
久御山町居宅介護支援事業所連絡会議	事例検討会
京都市	認定調査員新任研修会
京都府	介護保険サービス事業者に係る集団指導
京都府	京都府介護支援専門員実務研修実習に係る説明会 実習受入協力事業所講習会